

科目名	ProTools実習3							年度	2025
英語科目名	ProTools Training 3							学期	前期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	吉田光宏		教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア	
【科目の目的】									
Pro Toolsの設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格であるAvid Pro Tools201の取得を目標とする。									
【科目の概要】									
Avidの提供する Pro Tools Production I（PT201）に準じた授業を行う。このためにはPro Tools1・2において101と110を取得している必要がある。									
【到達目標】									
A. Avid製のハードウェアをよく理解し設定をする事ができる B. Voiceを完全に理解し優先順位も理解し節約することもできる C. ファイルフォーマットを理解しオーディオファイル適切に保存できる D. バウンスとフリーズとコミットを使い分けることができる E. メモリーロケーションの機能を理解し使用できる									
【授業の注意点】									
必ずメモを取りながら受講する事。また理解できないことが生じた場合は積極的に質問する事。授業中に私語や居眠りはしない事。授業中に発言を求められた場合は大きくハッキリと答える事（それを習慣付けることによって就職活動にも役立ちます）。パソコンが得意になれるように積極的に使用し、できれば購入する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	Avid製のハードウェアをよく理解し設定をする事ができる	Avid製のハードウェアの設定をしてみた事がある	Avid製のハードウェアはよく知っている	Avid製のハードウェアは分かるけど用途が分からない	Avid製のハードウェアが分からない				
到達目標 B	Voiceを完全に理解し優先順位も理解し節約することもできる	Voiceを理解しどの様に作用するか分かる	Voiceというのは発音のことであるという事は覚えている	何となくVoiceという名前は聞いた様な気がする	Voiceの事を聞いたことが無い				
到達目標 C	コピーを保存でオーディオファイルのフォーマットを変更している	コピーを保存でデータ量をコンパクトにしたりしている	上書き保存と別名で保存とコピーを保存を使っている	上書き保存と別名で保存を使っている	上書き保存しか使わない				
到達目標 D	バウンスとフリーズとコミットを使い分けている	バウンスとフリーズ機能を使用している	ディスクにバウンスとトラックバウンスを使っている	ディスクにバウンスだけは分かる	ディスクにバウンスを聞いたことが無い				
到達目標 E	様々にメモリーしたことをテンキーで呼び出して効率よく使用している	メモリーロケーションを理解し様々なことをメモリーしている	メモリーロケーションのマーカー以外の機能も理解している	メモリーロケーションはマーカーだけ使う	メモリーロケーションの使用方法を忘れた				
【教科書】									
授業中に適宜資料配布									
【参考資料】									
授業内で配るPDFファイル									

【成績の評価方法・評価基準】									
ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		Protocols実習3					年度	2025	
英語表記		Protocols Training3					学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価		
1	Avid201の解説	Avid201テキストを理解する	1	テキスト201の概要	ハイクラスなプロツールのテキストであるという事	3			
			2	201で大切な事	201で身につけるスキルのを理解する				
			3	201試験について	Pro Tools 201試験で出るショートカット等の説明				
2	クロック	デジタルに必要なクロックについての理解	1	クロックが必要な理由	なぜクロックというものが必要か理解する	3			
			2	クロックの設定	クロックの設定方法を理解する				
			3	トラブルの解決	クロックによるトラブルが解決できる様になる				
3	スクロール	様々なスクロールについて理解する	1	スクロールの選択	どの様にしてスクロールを選択するか覚える	3			
			2	スクロールの種類	それぞれのスクロールがどの様なものか理解する				
			3	それぞれの使用用途	どの様な状況でどのスクロールを使用するか理解する				
4	保存方法	3つある保存方法を理解する	1	上書き保存	上書き保存を理解する	3			
			2	別名で保存	別名で保存の使用状況と使用状況を理解する				
			3	コピーを保存	コピーを保存は多くの使用用途があることの理解				
5	ワークスペースブラウザー	ワークスペースブラウザーの使い方を理解する	1	ロケーションの理解	ワークスペースブラウザーのロケションを理解する	3			
			2	インポート出来るもの	何がインポート出来るか理解する				
			3	タグの使用	ワークスペースブラウザーによるファイルのタグ付け				
6	Voice	Voiceについて理解する	1	Voiceとは何か	Pro ToolsにおけるVoiceとは何かを理解する	3			
			2	Voiceの発生理由	なぜVoiceが発生するのかを理解する				
			3	Voiceの節約方法	Voiceの優先順位や節約方法などを覚える				
7	メモリーロケーション	マーカー以外のメモリーロケーションを覚える	1	時間の概念	複数ある時間の記録方法を理解する	3			
			2	種類	どの様なものがメモリーできるか理解する				
			3	ウィンドウ構成	ウィンドウ構成と組み合わせてメモリーする方法				
8	編集ツール拡張	編集ツールの拡張機能を覚える	1	拡張機能の出し方	どの様にして編集ツールの機能拡張を出すか覚える	3			
			2	機能拡張の種類	どの様な種類の機能拡張があるかを理解する				
			3	機能拡張の使用用途	どうの様な時にその機能拡張を使用するか理解				
9	マルチプルアウトプット	マルチプルアウトプットを使用できる様になる	1	使用できる場所	どの場所でマルチプアウトプットを使用できるか覚える	3			
			2	設定方法	どの様にしてマルチプルアウトプットを設定するか覚える				
			3	使用用途	どの様な時にマルチプアウトプットを使うか理解する				
10	オートメーション	オートメーションの高度な使い方	1	Auto Join	オートジョインによる書き込みをできる様になる	3			
			2	フェーダ位置に書き込	現在のフェーダー位置に書き込みを使用できる				
			3	プレビューモード	プレビューモードを理解し使用できる様になる				
11	クリップゲイン	クリップゲインを使用できる様になる	1	ショートカット	使用するためのいくつかのショートカットを覚える	3			
			2	ラインと情報	クリップゲインラインと情報を使用できる				
			3	クリップゲインのナッジ	クリップゲインをナッジし編集スピードを高める				

12	ストリップサイレンス	ストリップサイレンスを使用できる様になる	1 概要	ストリップサイレンスとはどのような機能か理解する	3	
			2 使用方法	ストリップサイレンスをどのような方法で使用するか		
			3 使用用途	ストリップサイレンスをどのような時に使用するか		
13	トラック複製機能	トラック複製機能を理解する	1 表示方法	どのようにしてトラック複製機能を表示させるかを学ぶ	3	
			2 使用方法	トラック複製機能の使用方法を覚える		
			3 使用用途	使用すると便利な状況を理解する		
14	ソロモード	ソロモードを理解し使い分ける	1 ラッチ、XOR、一時的	ラッチ、XOR、一時的を理解し使用できる	3	
			2 SIP、AFL、PFL	SIP、AFL、PFLについて理解する		
			3 使い分け	それぞれのソロモードを用途に応じて使い分ける		
15	201試験	201試験の方法を理解し受験に備える	1 アカウントの確認	アカウントやパスワードを確認する	3	
			2 試験への入り方	201試験の入り方を復習する		
			3 受験方法	受験時の解答方法や採点方法を復習する		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						

科目名	ProTools実習 3								年度	2025
英語科目名	ProTools Training 3								学期	前期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習	
担当教員				教員の実務経験		実務経験の職種				
【科目の目的】										
【科目の概要】										
ProToolsの操作や活用法を学びます。										
【到達目標】										
A. ポストプロダクション作業の基本的なワークフローを理解し、実践レベルで必要な技術・知識を身につける B. 音響効果作業の基礎的な作業を通じて、Pro Toolsの理解を深める C. 実務レベルで通用する速度でPro Toolsを扱うために、頻繁に使うショートカットコマンドを覚える										
【授業の注意点】										
この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1					
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力					
到達目標 A	授業で行った箇所の知識が100%身につけていた上で、応用課題をこなせる	授業で行った箇所の知識が100%身につけている	授業で行った箇所の知識が80%以上身につけている	授業で行った箇所の知識が60%以上身につけている	レベル2に満たないもの。					
到達目標 B	授業で行った箇所の知識が100%身につけていた上で、応用課題をこなせる	授業で行った箇所の知識が100%身につけている	授業で行った箇所の知識が80%以上身につけている	授業で行った箇所の知識が60%以上身につけている	レベル2に満たないもの。					
到達目標 C	ショートカットは全て覚えた上で、与えられた時間内に課題を全てこなせる。	ショートカットは全て覚えた上で、与えられた時間で課題を80%以上こなせる。	授業で習ったショートカットを全て覚えている。	授業で習ったショートカットを80%以上覚えている。	レベル2に満たないもの。					
到達目標 D										
到達目標 E										
【教科書】										

【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名		Protools実習3					年度	2025	
英語表記		Protools Training3					学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル			評価方法	自己評価
1	音楽編集	1年次に適切なProTools技術が身についているかを確認する		音楽編集	C			2	
2	セッションセットアップ	新規セッションの立ち上げから、作業を始めるにあたっての設定を覚える		新規セッション	A			2	
				MAにおけるProToolsの設定	A				
3	インポート～バスルーティング	映像や音声データをインポートして、バスルーティングを組む		映像インポート	A			2	
				AAF/OMFインポート	A				
				バスルーティング	A				
4	レベル管理	レベルの管理の重要性を理解する		ストリップサイレンス	A			2	
				クリップゲイン	A				
				シグナルフロー	A				
5	音編集①	高度な編集方法を覚える		クリップグループ	A / B			2	
				プラグインオートメーション	A / B				
6	録音実習	教室にあるもので簡易的なフォーリーをする		録音のオペレート	A / B			2	
				レベルのとり方	A				
7	音編集②	録音した素材を映像に落とし込んでいく		Audio Suite	A / B			2	
				インサート	A / B				
				エラスティックオーディオ	A / B				
8	音編集③	ライブラリーから足音を選び、映像に合わせる		ワークスペースブラウザ	B			2	
				マーカーテクニック	B				
				ナッジテクニック	B				
9	ミキシング	オートメーションの使い方を理解する		オートメーションモード	A / B			2	
				ミキシング	A / B				
				遅延補正	A / B				
10	納品フォーマット	バウンスから納品するまでの流れを学ぶ		バウンス	A			2	
				ラウドネスコントロール	A				
11	ワークフローのおさらい①	2～5回目の授業で学んだことを利用して課題をこなす		2～5回目のおさらい	A/B/C			2	
12	ワークフローのおさらい②	7～10回目の授業で学んだことを利用して課題をこなす		7～10回目のおさらい	A/B/C			3	
		ここまでの授業で学生		おさらい	A/B/C				

13	おさらい	このセッションセットアップの理解が低かった内容を再度行う				2
14	応用課題①	ボスプロ作業で、少し難易度の高い課題を時間内にこなす	セッションセットアップ	A / C		2
			編集	A / C		
			ミキシング	A / C		
15	応用課題②	音響効果作業で、少し難易度の高い課題を時間内にこなす	音編集	B / C		2
			バウンス	B / C		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						

科目名	ProTools実習3							年度	2025
英語科目名	ProTools Training 3							学期	前期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員				教員の実務経験			実務経験の職種		
【科目の目的】									
【科目の概要】 ProToolsの操作や活用法を学びます。									
【到達目標】									
【授業の注意点】									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A									
到達目標 B									
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									

【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		Protools実習3				年度	2025
英語表記		Protools Training3				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							

14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							